

事業者向け 就労継続支援B型 自己評価結果（公表）

事業所名 SMILE LIFE KURA

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	5	1	
	2	職員の配置数は適切である	3	5	1	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	6		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	5	1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	4		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	2	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	4		
	9	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っているか	8	3		
	10	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めているか	8	1		
適切な支援の提供	11	利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択しているか	7	2		
	12	アセスメントを適切に行い、利用者と家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、就労継続支援B型計画を作成している	6	3		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	6	1	
	14	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	3	5	1	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	6	3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	7		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	3		
	18	定期的にモニタリングを行い、就労継続支援B型計画の見直しの必要性を判断している	5	4		
	19	賃金の金額は妥当か	4	5		
関係機関や保護者との連携	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	5	4		
	21	医療的ケアを必要とする利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	4	4	1	
	22	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、又は病院等の医療機関を退院し、障害福祉サービスを利用する場合、それまでの支援内容等の情報交換をいっているか	4	5		
	23	自立支援協議会等へ積極的に参加している	2	7		
	24	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	3	6		
	25	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	5		
	26	利用者や家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		
	27	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	5	4		
	28	個人情報に十分注意している	9			

任	29	利用者や家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1		
	30	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	6	3		
非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や利用者の家族に周知しているか	6	3		
	32	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1		
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1		
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載しているか	4	5		
	35	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4		
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		